

各地の状況

北海道



北海道の景況は、設備投資が持ち直したものの、平成 30 年北海道胆振東部地震の影響により観光がやや弱含むなど、持ち直しの動きが減速。

個人消費は、地震の影響により、旅行キャンセルに伴うインバウンド消費の減少、余震・電力需給への懸念に伴う不要不急の支出手控えがみられる。住宅建築は、持家が減少したものの、貸家、分譲住宅が増加するなど、足許増加。設備投資は、観光客受入態勢強化に向けた投資着工がみられるなど、持ち直し。公共工事は、国、道、市町村が減少するなど、減少傾向。輸出は、ホタテガイが減少したものの、鋼管、塗料が増加するなど、底離れの動き。

生産活動は、地震に伴う停電により、操業停止やサプライチェーンの寸断などから製造業全般で減少するなど、弱含む。観光は、地震の影響により、観光入込客が減少するなど、やや弱含む。雇用は、有効求人倍率が上昇するなど、回復。

先行きは、地震災害の影響が懸念されるものの、緩やかな持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢

(注) 景況判断の文言は、会員銀行からの報告をもとに当協会で行きまとめたもの。